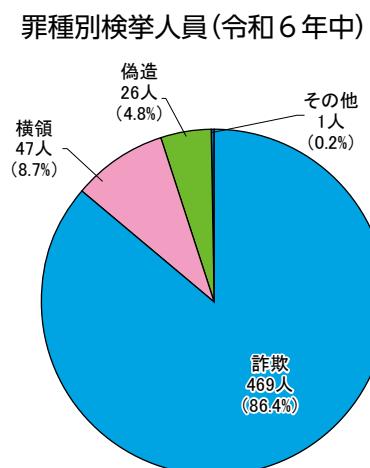
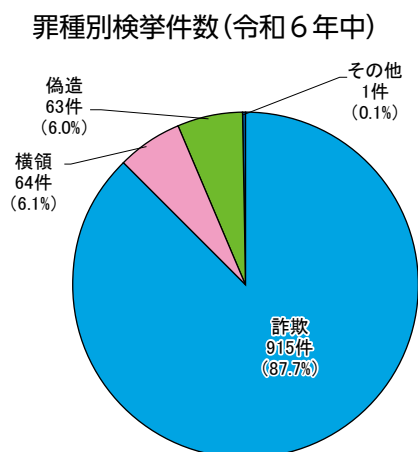
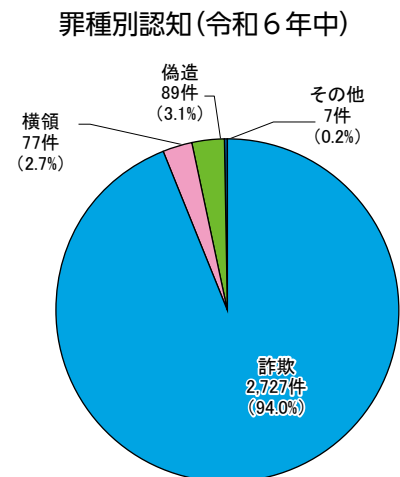
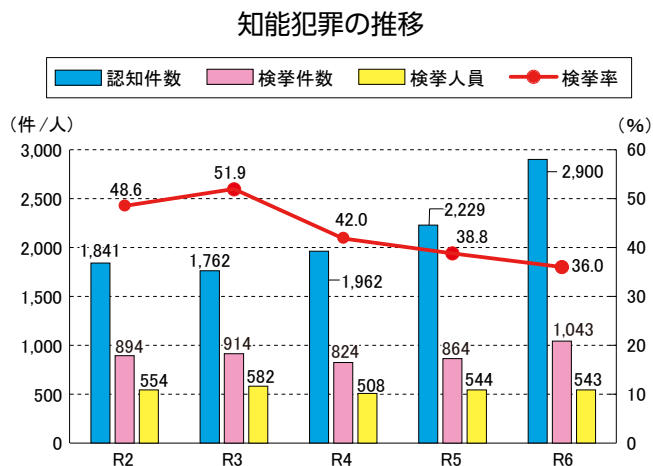


9 知能犯罪の発生と検挙

1 知能犯罪の認知・検挙状況

県民の財産、社会基盤等を害する詐欺、横領、通貨偽造等の知能犯罪の取締り、早期検挙を推進しています。



2 政治・行政・経済をめぐる不正の取締り

政治・行政・経済をめぐる不正に対し、端緒情報の把握に努め、様々な刑罰法令を適用するなどして、事案の解明を進めています。

各種選挙に際しては選挙の公正を著しく害する悪質な違反に指向した取締りを行っています。

《令和6年中の主な検挙》

- 公益社団法人日本PTA全国協議会元参与による背任事件
(捜査第二課、大宮署、浦和署、岩槻署)
- 第50回衆議院議員選挙における公職選挙法違反事件
(捜査第二課、大宮西署、幸手署)
- 社会福祉法人理事長らによる社会福祉法違反(贈収賄)事件
(捜査第二課、西入間署、飯能署)